(公社) 岐阜県理学療法士会・岐阜県主催 平成28年度第2回研修会レポート

平成 29 年 1 月 28、29 日に岐阜県総合医療センターで行われた(公社)岐阜県理学療法 士会・岐阜県主催 研修会「小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修」について 報告させて頂きます。この研修会は岐阜県委託事業として行われた研修会です。はじめに岐 阜県健康福祉部医療福祉連携推進課の山田育康様より「岐阜県における重症心身障がい児

者の現状と在宅医療支援施策」についてご講演を頂きました。在宅の重症心身障がい児の家族が最も利用したい医療サービスはリハビリですが、小児を対象としたリハビリテーションを学んだ理学療法士等が少ないため、病院等においても受け入れが進まない現状があります。このため受け入れマインドの醸成に向けて小児・障害児(者)を対象としたリハビリテーションに関する専門研修を継続して小児・障害児(者)リハビリの充実を図りたいとお話しされ、今後の理学療法士への期待が伺えました。



次に今回の講師である群馬パース大学保健科学部教授の中徹先生から「小 児 理 学 療法 の 導 入 か ら 展 開 へ」というテーマで 2 日間にわたって実技を交えながら講演をして頂きました。講演は小児理学療法への苦手意識を払拭できるように子供の特性はリハに有利であることや小児理学療法は普通のリハビリであり特別な事をすることではないと

参加者にわかりやすくお話をして頂けました。実技では立位でのストレッチ方法、寝返りのハンドリング方法などすぐに臨床で行える 方法を指導して頂きました。

この専門職研修は2020年度まで計画されており先生の計画では2017年度「構造と機能の評価と介入」、2018年度「活動と参加の評価と介入を中心に」、2019年度「CP 以外の障害と予防を中心に」、2020年度「問題解決法 Work Shop 症例検討」と今後も岐阜県で小児理学療法に携われる理学療法士の育成に取り組んで頂ける予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



学術局研修部 部員 木沢記念病院 森 直之